

福井放送

活動名	FBC 読み聞かせ
実施期間	令和 5 年 7 月～令和 5 年 12 月
実施回数	会場 7 回

【事業実施の成果・課題】

今年度は去年までと違い、ほとんどの小学校でマスクを取っての実施となりました。マスクを外している子も多く、これまで以上に子どもたちの表情や反応を見ながら読み聞かせができたように感じています。生の声で伝えることは、アナウンサーにとっても貴重な機会です。伝え方や表現の勉強にもなります。

また、一方で、感染予防という目的ではなく、恥ずかしさからマスクを外したくない子もいるという話を聞きました。これから生きる子どもたちに、表現することや自分の気持ちを伝えることをためらってほしくはありません。この読み聞かせ事業が少しでも子どもたちの心を開放するきっかけになればと願っています。

【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

・初めての読み聞かせで不安なところが多かったが、子どもたちの反応に安心して、じっくりゆったり読み聞かせができた。自分自身も成長させられる時間となった。発声練習・原稿読み体験は、アナウンサー歴 1 年目だからこそ、自らも基礎に立ち返るつもりで、丁寧にレクチャーした。5 年生からは放送委員会に入りたいという子たちもいて、

「伝える」大切さを感じていた様子だった。

・読み聞かせを聞きながら、生徒たちは笑ったりツッコミを入れたりリアクションが大きく、読みやすかった。多くの子どもが手を上げて感想を言ってくれた。

・天気予報や早口言葉体験では、一生懸命練習に励み、友人と発表してくれる児童が多く、人前で話すことの楽しさをより実感している様子だった。来年以降も、読み聞かせで本の内容をしっかり吸収してもらうことはもちろん、将来の職業観について養ってもらい貴重な機会を提供できるように努力を続けたい。

【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

< 4 年生男子児童 >

・全身を使って表すことをしたり、声をその時に合った表現にする工夫をしていてとてもすごいと思いました。木の声と少年の声が全然違うのがおもしろかったです。

・声のボリュームや声の換え方が聞きやすくてすてきでした。ぼくも音読をがんばります。

< 4 年生女子児童 >

場面ごとに声を変えるのがすごいです。私は家でユーチューブしか見たことがないので、ユーチューブではなくテレビを見ようと思うきっかけになりました。

< 3 年生担任 >

本の世界へ引き込まれていく子どもたちの姿を見て、感激すると同時に大変刺激を受けました。聞いていた私も心に響くものがあり、感動の涙がこぼれそうになりました。「伝える」という気持ちを持つことの大切さを実感して、子どもたちはさらにのびていくことでしょう。